

## 年頭所感



社会福祉法人 黎明会

理事長 佐々木 典夫

# 黎明会だより

No.132

編集・発行

社会福祉法人

黎明会

〒187- 東京都小平市

0032 小川町1-485

☎ 042-346-6611

<http://www.reimeikai.or.jp/index.html>

明けましておめでとうございます。昨年はこの黎明会が発足して70周年を迎えて、改めて終戦直後の大混乱期に路頭に迷う老人や孤児の救済のために黎明会の活動を開いた創始者の方々の熱い思いに敬服するとともに「社会福祉法人黎明会70年の歩み」を刊行してその後の活動を記録にとどめ、今後この70年間の黎明会の活動は、誠に目ざましいものがありまして、この内容は「社会福祉法人黎明会70年の歩み」に詳しく記述されているとおりであります。

黎明会の活動は当初は、台東区

池の端からスタートし、次いで北区、葛飾区、足立区、江戸川区と広範囲に住民のニーズに対応して活動を展開したことからも当時の黎明会の積極的な対応が偲ばれます。

一方、70年という輝かしい歴史と伝統を持つ黎明会には、長い歴史をもつが故にいつの間にか、時代の流れに取り残された面や制度改革が遅れている面が多く見られるところであります。

特に、従前は認知症高齢者の処遇については、福祉と医療のはざまにあってそれぞれが救済の手を出さない時期がありました。こうした状況に対して黎明会は認知症高齢者は福祉で対応すべしという考え方で特別養護老人ホームの設置に当たっており、「特別介護棟」を用意してこの受け入れを行いました。

一方、建物の中には早急に改築を

要するものが南台病院をはじめと

して存在しております。

こうした問題については、労働組合とも平成25、26年度にわたって相当の時間をかけて協議を重ねて、平成27年度から労働協約、就業規則、給与規程等の改正について労使合意が得られたことは、画期的であったと考えております。また、黎明会は、在宅の高齢者対策として、訪問給食・訪問看護・訪問介護といった各種在宅サービスの展開を行い、現在さらに充実を図っているところであります。平成27年には、社会福祉法人社会福祉事業研究開発基金の吸収合併により3億円の財源を得たことによって、先駆的活動を行う団体・個人に対する助成事業を実施することになりました。

わが国において黎明会ほど病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、救護施設、知的障害者施設、有料老人ホーム等の施設を設置運営しさらに各種の在宅サービスを展開しており、このように多様な施設・事業を進めてきた法人はおそらく他に類例が無いと思います。

国は皆、その時期、その折の社会情勢に応じて必要な事業を関係方面のご指導ご助言を得て展開してきたことを示すものであります。

まさに黎明会の歴史は戦後の日本社会情勢に応じて必要な事業を象徴していると考えられる次第

であります。

日本の財政が悪化したことによつて平成27年度には介護報酬の引き下げ等が行われたことに表れていくよう、保健、医療、福祉をめぐる情勢は今後さらに厳しくなることが予測されます。

しかしながら、このような厳しい状況下にあっても今後、黎明会は地域に根をはった事業の展開に向けて役職員が一丸となつて努力していくことをお誓い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 新年明けましておめでとうございます。

社会福祉法人 黎明会  
会長 佐野利昭



明けまして、おめでとうございます。

平成二十八年の新春を皆様とともに元気に迎えることができます

事を、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、黎明会の発足七十周年

の記念式典を举行することができます。

これは、一重に歴代の理事長はじめ役・職員の皆さん方の

ご努力の成果であるとともに、地域社会のご支援と施設利用者やそ

のご家族の皆様のご理解とご協力

の賜物であり、深く感謝申し上げ

ます。黎明会は、これまでの七十

年の歴史の重みを確りと受け止め、そこで培われた知識や経験を

踏まえて、更なる発展に向けて着実に歩みを続けなければならない

と決意を新たにいたしております。

さて、本年の干支は丙申（ひのえのさる）ですが、干支に関する書物を紐解きますと、丙申は「これまで目的に向かって努力してきましたことがはつきりと形となつて現

れ、更なる成長につながる年」とのこと。前回の丙申の年は六十年前の一九五六年（昭和三十一年）で、日本経済が戦後の混乱から回復し、神武景気と呼ばれた好景気の中で数値的には戦前の経済指標に追いつき、経済白書で「もはや戦後ではない」と宣言した有名な年に当たります。またさる年の「さる」という言葉は、「去る」という言葉と音が同じということです。これは、「悪いことが去る」とか「病が去る」など良いことや幸せがやってくる年とも言われているそうです。

勿論、何事も神頼みでだけでは成るものも成り得ないわけですが、黎明会では職員の皆さん方が、黎明会では職員の皆さん方の地に足の着いた日々の努力があります。黎明会にとっては、佐々木理事長の強いリーダーシップの下に職員の皆さんが必死になつて努力してきた経営改革の成果がいよいよ実を結ぶことが期待されております。

千支にちなんで、今年が黎明会にとって更なる発展の礎となり、皆様方全てのご家庭に幸せ多い年となります事を衷心より祈念し、新年のご挨拶いたします。

迎春

社会福祉法人 黎明会



監事	川畑一良	税理士行政書士	川畑一良	理事長	佐々木典夫	会長	佐野利昭
監事	小平市社会福祉協議会	参与	三品義之	社会医療法人社団さつき会	理事・評議員（50音順）敬称略	小平市医師会	常務理事
監事	元厚生省児童家庭局	吉岡莊太郎	忠夫	診療施設南台病院	奥村秀一	小平市社会福祉協議会	小平赤十字社
監事	元東京都福祉局	瀬田公和	和	看護部長栗原サキ子	掛川裕通	総務局長	会長
監事	小平市社会福祉協議会	庄太郎	一良	参事官関忠夫	奥村秀一	会長	佐野利昭
監事	公益社団法人全国有料老人ホーム協会	川畑一良	税理士行政書士	元厚生省児童家庭局	栗原サキ子	常務理事	佐々木典夫
監事	川畑一良	税理士行政書士	川畑一良	元東京都福祉局	掛川裕通	理事長	会長
監事	小平市社会福祉協議会	三品義之	忠夫	看護部長栗原サキ子	奥村秀一	常務理事	佐野利昭

## 法人本部

常務理事 松田雅司

創立70周年後のスタートの年を迎え、また新たな気持で本会の歴史を積み重ねていくことになります。

この2、3年来、法人の財政や組織等の運営基盤を固め直したことで、法人の理念の実現に向かう足場が強固になりました。急速な少子高齢化の波が逐年高まっていく中で、社会福祉法人にも、診療・介護報酬等の引下げや、運営の不断的改革及び合理性の追求が一層不可避になっています。が、引き続き、利用者ご家族や小平市、医師会、社協等、地域の皆様のお力添えも頂きながら、福祉事業のパイオニアとしての自負に違わない事業展開に努めて参ります。

## 診療施設 南台病院

院長 下山克也

国の方策として今後は、ますます在宅での療養を進めようとしているようです。療養型病棟が中心の当院の患者さん確保や経営は厳しくなってきているのが現状ですが、当院は幸いにも訪問診療も行っていますし、同一法人内に訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、デイサービスセンターなど色々な在宅型療養を支えて、施設をもつていて、さうに老健、特養などもあり協力をしていけばお互いに発展していくと考えら

れます。当院自身でも今まで以上協力をお願ひいたします。

## 法人本部

総務局長 山本光一

社会福祉法人黎明会は昨年10月、創立70周年を迎えることが出来ました。この大きな節目に職員として立ち会えたことは非常に喜ばしいことを感じています。今日、社会福祉を取り巻く環境は厳しさが増すばかりか、今後、社会福祉法人は、一層地域社会に貢献できる運営が強く求められてまいります。黎明会におきましても地域社会のニーズに充分に応えられるよう、また、当会の理念にあります社会福祉事業のパイオニアとして存分に力を発揮でけるよう努力してまいります。本年も地域の方々をはじめ、関係者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 法人本部

参与 吉竹弘行

社会福祉法人の事業環境は大きく変化し、介護保険単価引き下げや、医療機能見直しがある一方、今まで以上の地域貢献が求められています。私は大学で教鞭もとっていますが、医療福祉関連の仕事は人から感謝され、尊敬を受ける仕事だと信じて教育に臨んでいます。大変ですが、皆様のご支援を受けて、こうした感謝や尊敬を受けて活躍したいと存じます。

## 社会福祉法人

東京都福祉事業協会

常務理事 本田章博

## 評議員

学校法人大妻学院 大妻女子大学

教 授 明渡陽子

障害者支援施設 澄水園

施設長 足立陸平

看護部長 逢坂範子

小平市民生委員児童委員

牛草力

元小平市教育委員会

課長 大澤一美

施設長 小林健治

救護施設 あかつき

特別養護老人ホームやすらぎの園

施設長 松岡妙子

常務理事 丹羽紀明

有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷

総支配人 松田泰行

障害者支援施設 澄水園

保護者会会長 松本弘子

東小川橋地区防災対策連合会

会長 矢澤弘子

# 本年もどうぞ宜しく お願い申し上げます。



法人本部  
参与

在宅サービス総合センター所長

戸石正子

昨年は介護保険法改正・報酬改定の寒風の中、法人本部総務局在宅サービス総合センターとして4月1日より在宅部門の11事業が統合されスタートをいたしました。在宅支援ネットワークがより機能的で実効性のある活動を開催し、黎明会の資源が最大限活用でき、利用者のお一人おひとりにふさわしいケアプランであらゆるのか等を検証しながら広く協働しております。

地域の皆さまが安心してこの小平の地でいつまでも住み慣れたお家での生活ができますよう職員が一丸となり“支えあう心豊かな暮らし”をモットーに取り組んで参ります。



法人本部

参事

今野志保子

救護施設 施設長 黎明寮

郷

孝美

特別養護老人ホームやすらぎの園  
施設長 松岡妙子

黎明会が始めた介護職員初任者研修は2年目に入り、春と秋の2期生の紹介で入られた方が春に数名おり、春コースを修了された方に紹介された方が秋コースに数名おいでだということ。東京都の福祉人材センターとの会話でも、黎明会さんは資格を取りたい人の間で人気ですよと。魅力ある研修とやりがいのある職場を用意し、福祉人材の養成と、市民公開講座を通じての介護に強い地域づくりに尽力してまいります。

障害者支援施設 澄水園

園では、昨年度国に申請した施設整備費補助金の内示を受け、澄水園の大規模修繕（老朽化した外壁の補修と塗装および屋上防水）を行っています。また、今年度も「地域移行促進コーディネート事業」を都から受託し、地域移行の取り組みを行いました。

社会福祉法人制度創設以来の大きな改革と位置付けられた社会福祉法の改正が先の国会では成立せず、本年を持ち越されました。本年の干支である「申」という字は、樹木の果实が成熟して固まって行く状態を表していると言われていますが、昨年創立70周年を迎えた黎明会においても、黎明会の五つの運営理念の下、法人が経営する各施設の機能を有機的に連携させて新社会福祉法が求められる福祉サービスの供給体制の更なる整備及び充実に取り組んで参ります。皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

法人本部  
総務局次長 福永直樹

法人本部  
施設長 足立陸平

救護施設 施設長 小林健治

診療施設 事務部長 谷嘉章

昨今、社会福祉法人の在り方が問われ、昨年の第189回国会で「社会福祉法等の一部改正法案」は継続審議となりましたが、社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化、事業運営に透明性の向上等を進め、福祉サービスの供給体制整備・拡充を求めているもので。その中で、「内部留保の明確化と福祉サービスへの再投資」について、再投資可能な財産がある法人に対し、社会福祉事業又は公益事業の新規実施・拡大に係る計画の作成を義務付けています。地域に必要とされる事業所としてその役割を果たすよう努めています。

施設長 東郷孝美

南台病院は、地域の皆様から信頼され安心して受診して頂けるよう、地域医療連携に力を入れ、安全な医療を提供しております。院内の各部門では、日々の業務を見直し明日につながる業務改善にも積極的に取り組み成果をあげております。今後は、病院再建計画の柱として挙げられる快適に安心して治療に専念していただく療養環境の整備と共に、生まれ育ったこの地域で安心して生活できる地域包括ケアシステムの構築などが課題となります。この先いくつもの難題はありますが、職員一同知恵を出し合い、地域の皆様から愛され選ばれる病院となるよう努力して参ります。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

診療施設 南台病院

看護部長 逢坂範子

2025年を日途に、医療や介護を受けながら住み慣れた地域で最後まで暮らせる態勢。地域包括ケアシステムの構築が推進されつつあります。しかし一方では、介護力不足など不安を募らせておられる方々も多いのではないかと思ひます。南台病院では、こうしたご要望にもお応えできる療養の機能も有しています。患者さま・ご家族だけでなく地域の皆さまの笑顔があふれる安心生活の実現のため、地域に根差した医療機関として、お役にたてるよう職員一同努めてまいります。今年もどうぞ、よろしくお願ひします。

就労継続支援B型 のぞみ作業所

施設長 小泉浩一

のぞみ作業所は、作業に携わる利用者の生き生きとした姿が印象的で、作業所は「利用者ありき」であることを日々実感しています。地域に根差した「施設づくり」は、支援者によって展開するのではなく、利用者が主体になって進むことが必要です。利用者自身も「利用者中心の支援」を進めています。今後も「利用者中心の支援」を受ける存在から地域に貢献する存

在」として、また、「サービスの受け手からサービスの主体的な存続」に変わっていくことが十分に可能であると感じています。今後も「利用者中心の支援」を進めています。

有料老人ホーム 热海ゆとりあ郷  
総支配人 松田泰行

のぞみ作業所は、作業に携わる利用者の生き生きとした姿が印象的で、作業所は「利用者ありき」であることを日々実感しています。地域に根差した「施設づくり」は、支援者によって展開するのではなく、利用者が主体になって進むことが必要です。利用者自身も「利用者中心の支援」を受ける存在から地域に貢献する存

介護老人保健施設 けやきの郷

施設長 池島祐二

けやきの郷は、今年で開設から20年目を迎えることができました。ここ数年は、非常に厳しい経営状況が続いていましたが、様々な改革をすすめてきた結果、ここへきてようやく黒字化の日途がつきましたところです。これもひとえに諸先輩方のご指導と心強い励まし、そして苦労をいとわず協力してくれたけやきの郷全職員のお陰であると深く感謝申し上げます。今後も介護報酬のマイナス改定等、介護事業は厳しい状況が続くと予想されますが、開設20年目を機に、改めて気を引き締め、次なる改革に取り組んでいきたいと思います。

平成27年度 介護職員初任者研修受講者状況

春コースは25名の方が修了。万秋コースは20名で、現在は実技講習を終え、施設実習と訪問実習の期間中。実技講師の1人が言うには、今回の方達は動きがいいと。クラスによって特色が出るものな



春コース 介護職員初任者研修修了式

平成28年度も春と秋の2コースを開設します。介護に関する知識と技術を習得し、資格を得て家庭の皆さまの健康を支え、当郷では「すこやかに老い、ゆたかに生きる」をモットーに入居メンバーの皆さまの生活をお過ごしいただけるよう、サークル活動の更なる充実を図り、健康の維持・増進、介護予防の推進に努めてまいります。

今年度は認知症に関する学習を深める連続講座として、一回目は若年性アルツハイマーの妻と10年のお話、二回目は、認知症と診断された吉田さんとパートナーの水谷さんのお話。まさに認知症とともにあって日々生活することの実体験を元にしたお話は、発見や驚きとともに、大いなる説得力をもち、深い感動を呼ぶものです。誰もが認知症になる覚悟を持つて、先に体験した方々の教えを乞うべきなのでしょう。28年度も、市民公開講座は続きます。講座に関するご意見ご要望をお待ちしています。

市民公開講座を終えて

平成28年度  
介護職員初任者研修生を募集します!!

【春コース】4月17日～8月7日  
【秋コース】10月16日～2月5日  
上記日程で予定しています

詳しくは、  
☎042(346)6611 今野まで



## 「本読み会」をさせて頂いて

介護老人保健施設 けやきの郷

ボランティア 田久保 妙子

第20回 澄水園セミナー

東京都自閉症協会役員  
高機能・アスペルガー部会担当 講師 片岡 聰

「ディケアの皆さんとの「本読み会」は、私の宝物です。未年生まれ、還暦の私は、持病で元気には動けず、やれることも人よりも少なめです。けれど日々、いきいき生活したいと思つています。そんな私は、声に出して本を読むことが大好きです。

本読みの機会を紹介して頂いたのは一昨年の夏。やっと二十回を超えたばかりです。けやきの郷に伺う度に、私の方が皆さんから、心にどっさりお土産を頂きます。

さて、「本読み会」の段取りはというと：まず季節を軸にテーマを決め、小説、随筆、絵本、新聞等、読む素材を選びます。時には歌を入れ、一時間位のプログラムを組みます。そして、練習して、いざ本番…です。

年末、テーマが『年越し』の回で、こんな出来事がありました。長めの話を聞いて頂き、箸休めの一冊にと、明くる年の干支、羊が主人公の可愛らしい絵本を読んだのですが…。終わって、ある女性がにこやかに「今の本、面白くて我が家の五歳の曾孫にピッタリ」と。そして続けておっしゃるには

「つまり、私達も同じレベルですね」：その方の笑顔の奥の心を、未年生まれ、還暦の私は、持病で元気には動けず、やれることも人よりも少なめです。けれど日々、いきいき生活したいと思つています。そんな私は、声に出して本を読むことが大好きです。

私は、そう肝に銘じました。私は、どうたの人生の歴史にも、計り知れない価値と重みがあります。考え方や感じ方も十人十色です。私は拙い想像力をフル稼働させ、発する言葉にいかに敬意を込め、読む本をいかに心にまで届けるかを考えます。それが今、私が一番大切にしていることです。

そんなある日、「あんた、楽しそうだし、一生懸命だ。こっちも聞きたくなるよ」とのお声。飛び上がるほど嬉しかったです。

本読みにできることは、ほんのわずかです。それでも、皆さんがあ次はどんな本だろうと、ちょっと

先の未来を楽しみに待つ：そんな存在の会になれたら。そう思いを馳せ、今日もワクワクと本選びをしている私です。

本読み会を紹介して頂いたのは一昨年の夏。やっと二十回を超えたばかりです。けやきの郷に伺う度に、私の方が皆さんから、心にどっさりお土産を頂きます。

さて、「本読み会」の段取りはというと：まず季節を軸にテーマを決め、小説、随筆、絵本、新聞等、読む素材を選びます。時には歌を入れ、一時間位のプログラムを組みます。そして、練習して、いざ本番…です。

年末、テーマが『年越し』の回で、こんな出来事がありました。長めの話を聞いて頂き、箸休めの一冊にと、明くる年の干支、羊が主人公の可愛らしい絵本を読んだのですが…。終わって、ある女性がにこやかに「今の本、面白くて我が家の五歳の曾孫にピッタリ」と。そして続けておっしゃるには

「つまり、私達も同じレベルですね」：その方の笑顔の奥の心を、未年生まれ、還暦の私は、持病で元気には動けず、やれることも人よりも少なめです。けれど日々、いきいき生活したいと思つています。そんな私は、声に出して本を読むことが大好きです。

本読みの機会を紹介して頂いたのは一昨年の夏。やっと二十回を超えたばかりです。けやきの郷に伺う度に、私の方が皆さんから、心にどっさりお土産を頂きます。

さて、「本読み会」の段取りは

この度は澄水園のスタッフ・利用者の方々の前で自閉症者として話す機会をいただき、ほんとうにありがとうございました。私の自閉症由来の困難に対する丁寧な対応と、素敵なプレゼントに対してもうございました。私の自閉症は、なかつたかもしれません。けれど、例えお一人でも、そんな思いをされることのないように：

私は、どうたの人生の歴史にも、計り知れない価値と重みがあります。考え方や感じ方も十人十色です。私は拙い想像力をフル稼働させ、発する言葉にいかに敬意を込め、読む本をいかに心にまで届けるかを考えます。それが今、私が一番大切にしていることです。

そんなある日、「あんた、楽しそうだし、一生懸命だ。こっちも聞きたくなるよ」とのお声。飛び上がるほど嬉しかったです。

本読みにできることは、ほんのわずかです。それでも、皆さんがあ次はどんな本だろうと、ちょっと

この度は澄水園のスタッフ・利用者の方々の前で自閉症者として話す機会をいただき、ほんとうにありがとうございました。私の自閉症は、なかつたかもしれません。けれど、例えお一人でも、そんな思いをされることのないように：

私は、どうたの人生の歴史にも、計り知れない価値と重みがあります。考え方や感じ方も十人十色です。私は拙い想像力をフル稼働させ、発する言葉にいかに敬意を込め、読む本をいかに心にまで届けるかを考えます。それが今、私が一番大切にしていることです。

そんなある日、「あんた、楽しそうだし、一生懸命だ。こっちも聞きたくなるよ」とのお声。飛び上がるほど嬉しかったです。

本読みにできることは、ほんのわずかです。それでも、皆さんがあ次はどんな本だろうと、ちょっと

## お知らせ

## 施設リポート

### ◆平成27年度

#### 第7回理事会第4回評議員会

平成27年度12月16日16時から当会黎明ホールにて、平成27年度第7回理事会第4回評議員会を開催しました。

会は理事長の挨拶で始まり、平成27年度補正予算(案)について審議し、全会一致で承認されました。

#### 共同募金

当会では、例年どおり10月1日に街頭募金活動を実施しました。募金にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。  
募金総額83,827円

#### ◆秋季総合防災訓練

秋の全国火災予防運動前の11月7日土曜日午前中、地震等の大規模災害に備え、薪を熱源とした備蓄食材の炊き出し訓練、あかつぎ受水槽からの飲料水の確保、照明用バルーンと仮設トイレの設置訓練と黎明会倉庫等で保管してある用具等を活用し、今まで実施されていない訓練に取り組みました。大勢の東小川橋地区防災連の方々に参加して頂き協働で、今後に活かせる訓練が実施できました。ありがとうございました。(甲斐)

### ◆黎明寮 秋祭り

#### 救護施設 黎明寮では、去る10月24日(土)、毎年恒例の「黎明寮秋祭り」を開催しました。当日は、

秋晴れとなり多くの方々に来場していただき、大いに賑わいました。会場では、焼きそば・豚汁、ゲームや似顔絵コーナーなどの模擬店が大盛況でした。また、近隣の作業所の皆さんによる出店、舞台

では楽器演奏・ダンス・太鼓・大道芸・利用者の舞踊披露などの催しも実施しました。

地域の方々やボランティアさんとの交流も深まり、楽しい1日となりました。(松永(彰))

#### ◆のぞみ作業所

今年度の1泊旅行で、のぞみ作業所はご利用者と千葉・房総方面に行きました。初日は、海ほたるサービスエリアに寄り、太海フラワーセンターレストランでボリューム一杯の海鮮料理を食べ、大満足でした。

#### ◆ゆとりあコンサート

去る10月14日に秋のふれあい大

会を実施しました。今回の旅行も、大きな事故なく皆が安全に過ごして終えることが出来ました。ご利用者、ボランティアさん含めて総数78名で楽しい思い出を沢山作れた旅行となりました。(岩田)

ル三日月』。ご利用者も名物の黄金風呂に入ってゴージャスな気分を味わいました。夜は、カラオケやトランプなどで大盛り上がりでした。2日目には、南房総道楽園へ向かい、お笑いものまねショーを鑑賞しました。さまざまなものまねを存分に堪能し、笑いの絶えない時を過ごしました。

帰りも順調に、予定通り戻つてくることが出来ました。

今回の旅行も、大きな事故なく皆が安全に過ごして終えることが出来ました。ご利用者、ボランティアさん含めて総数78名で楽しい思い出を沢山作れた旅行となりました。

### ◆澄水園秋祭り

去る10月31日、澄水園では毎年恒例となっている秋祭りを開催しました。

最初に大道芸人のパフォーマンスで開始し、屋内では綿あめやアイスクリーム、ゲームの出店、そしてヨーダバンドによる演奏では多くの利用者様が自然と前に出てダンスされ、楽しめている姿が見られました。

(福島)



(福島)

大会も、大量旗が上がるくらいに釣り上げていました。そして借り物競走は、入居者と職員が協力して楽しみながら競いあいました。この大会の趣旨である入居者の皆様のふれあいに職員も参加できましたことを感謝いたします。

